

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 いのもとランド		公表日 令和8年3月21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	活動に応じてスペースを活用しています。	継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	利用する子どもの特性によっては、職員が必要と感じることもあります。	支援の質を考慮しながら職員体制を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	どこで何をするか子どもたちの中でおおよそ決まっているが、遊びの内容によってはやや狭いと感じることもあります。	限られたスペースで安全に遊べる方法をその都度考えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃は欠かさず、エアコンのフィルター空気清浄機なども定期的に行っています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	個別の部屋はありません。	共有スペースに簡易的な仕切りを設けたりして視覚的に落ち着ける場所づくりを検討していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日、ミーティングをし振り返りを行っています。職員の対応の仕方を検討するなど目標に向けての話し合いができています。	継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価表を全員で確認し、内容を把握しています。	継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日のミーティングで、職員の意見交換の場を設けています。意見をもとに業務改善に努めています。	継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	第三者委員会の評価を受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	60%	40%	入社したばかりでわからない。今まであまり機会はなかった。	オンライン研修や資料共有など柔軟なかたちで研修に参加できる機会を設けていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	問題なし。	継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリング、連絡帳、LINEなどでこまめに情報を収集し、複数の職員とケース検討し作成を行っています。	継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	保護者様の意向をもとに子どもの様子や課題を日々話し合ったうえで作成しています。	継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	話し合った内容が反映されていて共有されている。	継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	初回利用時の子どもの様子について、職員間で情報を共有し見立てるようにしています。	継続していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	保護者の方へ必要な支援について適宜相談をしながら計画を立てている。	継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月のプログラムは職員全員で話し合いをして決めています。	継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	特に土曜日や祝日は、子どもたちに様々な経験を積んでもらえるように内容を工夫しています。	継続していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ソーシャルスキルの向上を狙った目標と、個別への課題に着目した目標がある。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前に必ず時間をつくり活動の流れや役割分担を確認しています。またその日に利用する子どもの支援上の注意点なども共有しています。	継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	翌日の朝には必ず行っている。	継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録をとって保管しています。支援の検証・改善に役立てています。	継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い見直しています。	継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	入社してからの日が浅い職員が多いため、子どもの様子について職員全員で話し合い情報を集約しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	保育園や学校の先生と日頃の様子について情報交換している。	継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%		地域の相談支援員と協力し併用利用を促している。	継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%		保護者同意の基、情報共有をしている。	継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	40%		療育センターへ空き枠情報を伝えています。相談員の方を仲介して、必要に応じた対応を行ってもらっています。	継続していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	機会はない。	今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳で共有しています。	継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	ありません。	家族が参加できる研修のご案内を積極的に行ってきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	丁寧な説明を心がけています。	継続していきます。
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者とこどもの意向を踏まえて計画しています。	継続していきます。
	37	「児童発達支援・放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	対面での説明を心がけ、同意を得るようにしています。	継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	入社して間もないため、信頼関係の構築に努めています。	継続していきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	昨年のクリスマスコンサートは保護者の方の参加も促しましたが、仕事等で都合が合わないようでした。	土曜日や祝日での開催を検討していきたいです。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	直接相談のほか、電話やLINE等でも相談を受け付けています。	継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月刊誌やSNSの更新を定期的に行っています。また、ホームページで必要な情報の提供を行っています。	継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	本人を特定できる情報を室内に掲示しない。写真の取り扱いも、保護者確認の上行っています。	継続していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚的支援として、イラストや写真を用いています。	継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	そういった機会はあまり設けられていません。	今後、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	いつでも観覧できるよう、相談室に置くようにしました。	継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に訓練をしています。	継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	状況の確認はできています。	年に1度は子どもの健康・医療情報について保護者に確認し情報を更新していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	家族から情報を得ています。	必要に応じて対応をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に研修を行う必要性を感じています。	定期的に研修を行います。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	定期的に周知を行う必要性を感じています。	定期的に周知を行う必要性を感じています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	検討しています。	継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員全員が研修を受けています。	継続していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	職員全員が研修を受けています。	継続していきます。	